

京大京女 2 日間大会

2013 年 9 月 7-8 日 滋賀県大津市 上桐生

第 18 回を迎えた京大京女大会。今回は 1 日目リレー、2 日目公認ミドルと思う存分上桐生を満喫していただけたのではないのでしょうか。

1 日目リレー

1 日目は北側のエリアを使って競技が行われた。

全体的にコントロール位置の難易度は低めに設定してありスピーディーなレース展開となった。ただ、見通しの悪い部分、細かな尾根沢が発達した部分も存在し、スピードの切り替え、正確なナビゲーション、藪や高低差を考慮したルートチョイスが要求されるコースでもあった。全クラスにスペクテーターズレーンを設けられており、会場の目の前を駆け抜ける走者を応援する姿も見られた。

Mクラスでは、名古屋大学の4回生チーム(チャレンジ・ザ・トリプル)が OLC ルーパーを10秒差で下し優勝。2走時点で OLC ルーパーと2分半あった差をチャレンジ・ザ・トリプル3走の堀江悟選手がひっくり返すドラマチックな展開となった。Wクラスは金大チーム(金大女)が名相勢を抑えて優勝を飾った。



スペクテーターズレーンで選手の通過を今か今かと待ち望む姿が見受けられた。

(写真：上林写真館より)

2 日目公認ミドル

2 日目は南側のエリアを使って競技が行われた。

見通しが良く平らで爽快に走れるエリアから見通しがきかない微地形エリアまで多種多様な地形・植生が広がっており、エリアに応じた切り替えが要求されるコースであった。終盤まで集中力を持続させることも勝負の鍵となったことだろう。

M21Eクラスでは谷川友太選手(OLC ルーパー)が2位の松澤俊行選手に2分程の差をつけ圧勝。W21Eクラスは京大卒の関谷麻里絵選手(朱雀 OK)が微地形レーンを制した。



M21E クラス (左から2位松澤俊行選手、1位谷川友太選手、3位小暮喜代志選手)



W21E クラス (左から2位渡辺円香選手、1位関谷麻里絵選手、3位加納尚子選手)
(写真：上林写真館より)

地図調査

今回は、15 回大会で作られた地図を自分たちの手で拡大リメイクした。

1 日目の地図の北東部分は新規開拓エリアであり主に 2 回生が作成した。

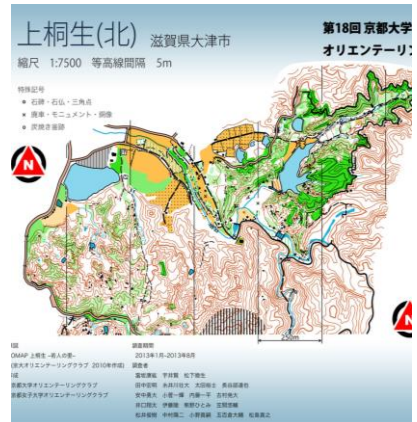
調査経験もなかった 2 回生は、地形調査、植生調査のノウハウを一から身につけて地図を完成させた。

2 日目のエリアは主に 3 回生が調査を行った。3 回生は 17 回大会で調査を経験しており、基本的な調査スキルはあったものの微地形の作図に苦心し思うように調査は進まなかったが、試走などを通して微修正を重ね、なんとか完成させることができた。

今回は 1 日目、2 日目でエリアを分割して使用したが、一体化させることに

よってロング競技にも上桐生を使用できるのではないかと。

(宇井 賢)



今回は 1 日目、2 日目の地図をそれぞれ上桐生(北)、上桐生(南)として使用した。